

2023年度 S B I R 推進プログラム（連結型） 公募説明会資料

この資料は、「S B I R 推進プログラム」事業への応募をご検討されている事業者のみなさまに
最低限必要な重要情報を記載しております。

応募に際しては、公募要領をはじめとする関係書類を熟読ください。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
イノベーション推進部 プラットフォームグループ

目次

1. 事業の背景と目的
2. 事業の内容
3. 応募対象事業者の要件
4. 対象となる研究開発課題
5. 重複に関する留意事項
6. e-Radへの登録
7. 応募方法
8. 提出資料について
9. 提案書（様式第1）について
10. 助成事業実施計画書について
11. その他の研究費の応募・受入状況について
12. 利害関係について
13. 提案書類チェックリスト(提案者用チェックリスト)について
14. 今後のスケジュール（予定）

日本版S B I R (Small Business Innovation Research)制度

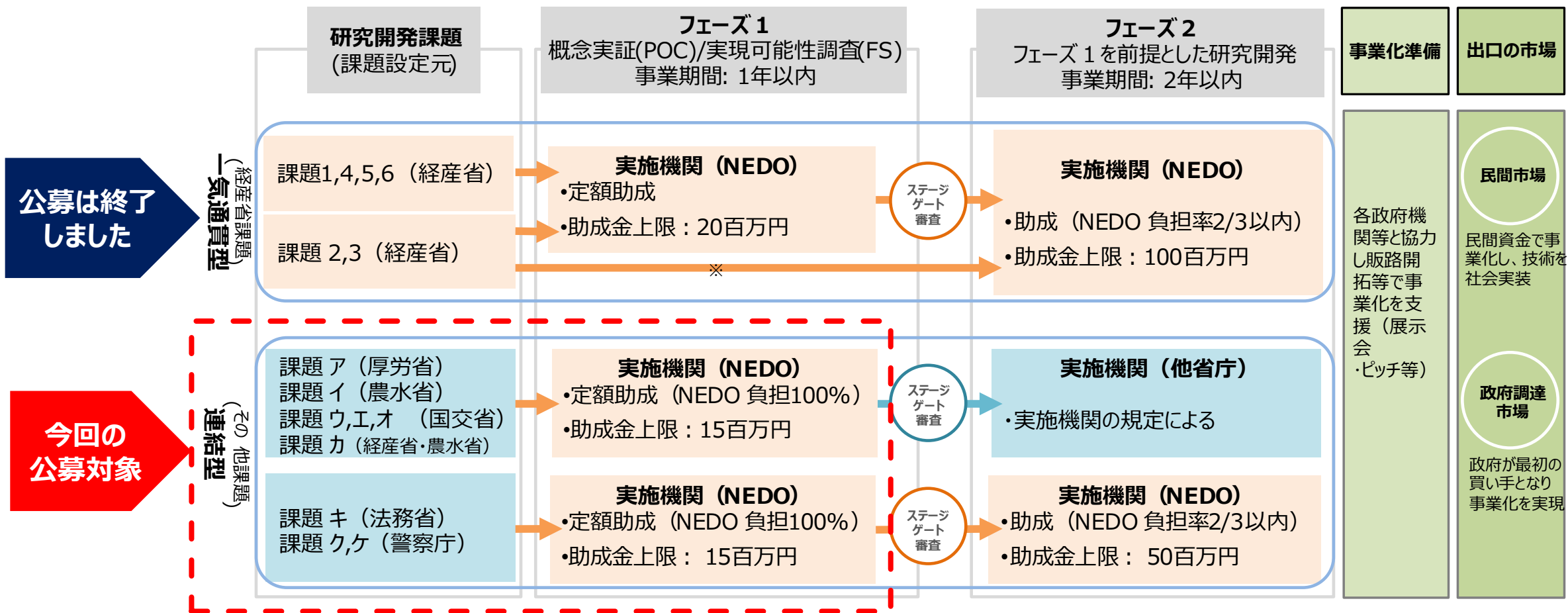
- 多様化する社会課題の解決に貢献する研究開発型スタートアップ等を支援
- 内閣府を司令塔として省庁横断的に実施する制度



S B I R 推進プログラム

- 国の設定する課題（調達ニーズ、社会課題）の解決に資する技術を有する者を公募で募り、革新的な技術の概念実証や実現可能性調査を支援するとともに（フェーズ1）、フェーズ1で得られた成果等を前提として当該者が事業化に向けて取り組む研究開発を支援する（フェーズ2）ものです。

SBIR推進プログラムにおける多段階支援の概要



3. 応募対象事業者の要件

- (1) 日本に登録されている**スタートアップ**・**中小企業**等であること
- (2) 原則として、**創業から15年以内**の**中小企業**等を応募対象者の目安としています。
ただし、**技術の態様や調達ニーズ**等に応じて、個別に対応することがあります。
- (3) 事業に必要な**技術、資金、管理体制**等を有していること
- (4) 前職の離職時に前職と結んだ**念書・誓約書**等の制限条項に抵触していないこと
- (5) 反社会的勢力、あるいはそれに関わる者との関与がないこと

- **学術機関等は共同研究先として参画可能**
- **大企業や海外企業・海外機関等は、共同研究先として費用計上できません。**

4. 対象となる研究開発課題

2023年度 研究開発課題一覧

連結型				
NO.	ニーズ元	実施機関		研究開発課題
		フェーズ1	フェーズ2	
ア.	厚労省	NEDO	厚労省	多様化する障害像を踏まえた汎用性のある自立支援機器の開発
イ.	農水省	NEDO	BRAIN*	食品産業の生産力強化に資するスマート研究開発
ウ.	国交省	NEDO	国交省	海の次世代モビリティによる沿岸・離島地域の課題解決
エ.	国交省	NEDO	国交省	造船所の生産性向上に関する研究開発
オ.	国交省	NEDO	国交省	IoT等の活用による内航近代化に係る研究開発
カ.	経産省・農水省	NEDO	BRAIN*	加工食品の輸出促進のための賞味期限延長等の技術の開発
キ.	法務省	NEDO	NEDO	仮想空間において、現実空間と同等以上の技術習得が可能となる職業訓練を実現するための技術開発 課題名が変更になりました 現実空間と同等程度の技術習得が可能な仮想空間における職業訓練を実現するための研究開発
ク.	警察庁	NEDO	NEDO	高機能防弾衣・防護衣の開発
ケ.	警察庁	NEDO	NEDO	移動中の車両等に搭載する衛星通信用アンテナの開発

* BRAIN: 「生物系特定産業技術研究支援センター」

(1) 同一提案者が、複数のテーマで提案することは可能ですが、その提案における成果物が、同一の研究開発課題を解決する他の提案と組み合わせられて最終成果物となる場合、総合的に判断し、提案を受理しないか、もしくは提案内容の変更をお願いします。

(2) 採択に至った場合でも、助成金の交付額は審査の結果及び予算の制約等により、提案額から減額することがあります

- **「不合理な重複」、又は「過度の集中」が認められる場合には、採択を行わないことがあります。また、それらが採択後に判明した場合には、採択取り消し又は減額することがあります。**
- **他の競争的研究費や、その他の研究費の応募・受入状況、所属機関・役職に関する現況について、応募書類や共通システムに事実と異なる記載をした場合は、研究課題の不採択、採択取り消し又は減額配分とすることがあります。**

e-Rad（府省共通研究開発管理システム）： 各府省で横断的に活用する研究開発管理に係るオンラインシステム

- e-Radへの登録が無い場合には、本公募の審査対象となりません
- **登録には日数を要する場合がありますので、お早めに登録をお願いいたします**
- 共同研究先のある場合、「研究分担者の欄に共同研究先の研究者の登録」が必要となります。

- e-Rad ポータルサイト <http://www.e-rad.go.jp/>
- e-Rad 利用可能時間帯：平日、休日共に0:00～24:00
(国民の祝日及び年末年始も、利用可能です。ただし、サービス時間内であっても、緊急のメンテナンス等により、サービスを停止する場合があります)
- e-Rad ヘルプデスク
電話番号：0570-057-060 (フリーダイヤル)
受付時間：平日9:00～18:00 ※国民の祝日及び年末年始を除く

【入力項目】

- 研究開発課題番号 事業の名称
- 代表法人名称、代表法人研究開発責任者
- 共同提案法人名、及び、共同提案法人研究開発責任者
- 事業概要（200字～250字以内）
- 利害関係者
- 代表法人連絡担当者氏名：氏名・所属・役職名・電話番号・メールアドレス



全てのファイルを一つのzipファイルにまとめて提出
提出先 <応募受付フォーム> > アップロードファイル名は半角英数字

受付期間：2023年6月30日(金)～2023年7月31日(月) 正午迄
<https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/7vdab3ztz38t>

以下の資料をNEDOホームページからダウンロードして下さい。

ダウンロードリンク [_https://www.nedo.go.jp/content/100963174.zip](https://www.nedo.go.jp/content/100963174.zip)

提出書類名	提出形式	NEDOホームページからダウンロード
1. 提案書 <研究開発に関する情報>		
1-1. 提案書 (様式第1)	Word	可
1-2. 助成事業実施計画書	Power Point	可
2. 添付資料① <研究者に関する情報>		
2-1. e-Rad 応募内容提案書 (※)	PDF	e-Radページからダウンロード
2-2. 主任研究者研究経歴書	PDF	可
2-3. その他の研究費の応募・受入状況	PDF	可
2-4. 利害関係の確認について	PDF	可
3. 添付資料② <会社に関する情報>		
3-1. 直近3年分の決算報告書	PDF	提案者書式にて提出
3-2. 全部事項証明書	PDF	原本をPDF化して提出
3-3. 財務項目ファイル (資金調達に関する情報)	Excel	可
4. 4-1. 提案者用チェックリスト	Excel	可

(※) 共同提案者も e-Rad への登録は必要となります。登録方法については、

「6. 提出書類および提出期限と提出方法 (6) 府省共通研究開発管理システム(e-Rad)への登録」をご参照ください。

8. 提出書類について

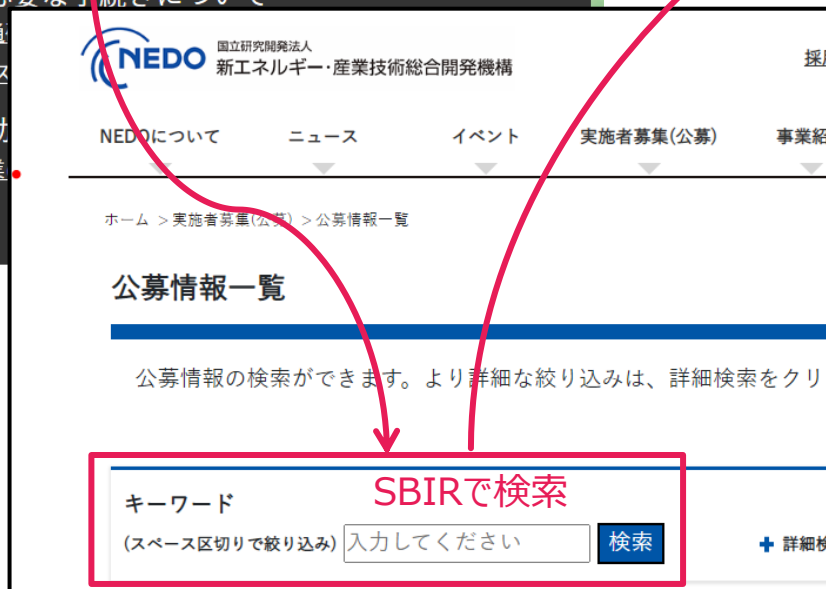


実施者募集(公募)

実施者募集(公募) 情報を探す
公募情報検索画面

応募に必要な手続きについて

- 府省共通
- 発管理シス
- 委託・助
- 委託事業
- き

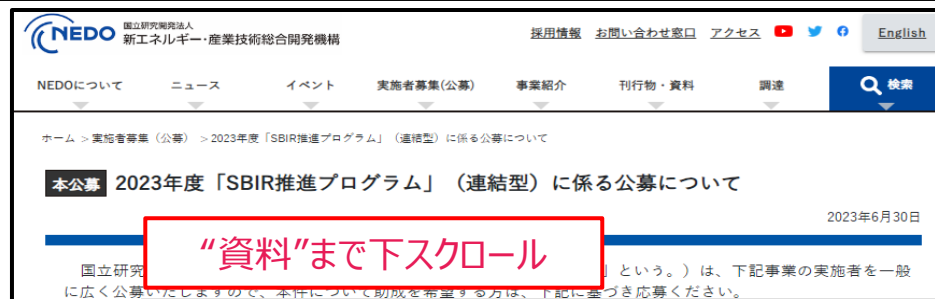


SBIRで検索

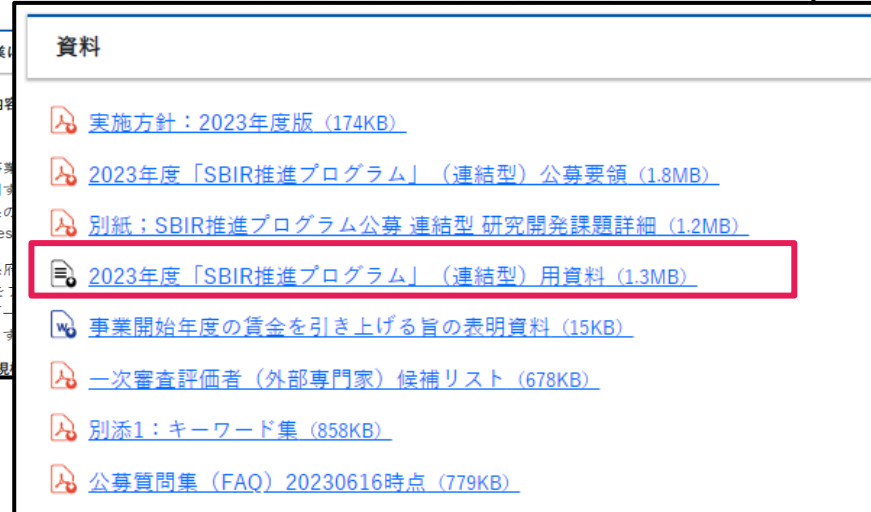
キーワード
(スペース区切りで絞り込み) SBIR 検索 + 詳細検索 x リセット

検索結果：35件
1 | 2 | 3 | 4 次へ

掲載日	事業分野	件名	状況 すべて▼	締切日	事業分類 すべて▼	説明会
2023年6月30日	分野横断的公募事業	2023年度「SBIR推進プログラム」(連結型)に係る公募について	公募	2023年7月31日	研究開発	○



“資料”まで下スクロール



9. 提案書（様式第1）について

(様式第1)

右記の番号は、貴社の社内文書番号がある場合のみ記入してください→ 番号
提出日を記載してください→ 年 月 日

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
理事長 殿

・提案者は法人格を有することが必要です。 提案者 〒 住 所
・代表者は会社の代表権のある方とします（専任不要）。 名 称
・共同提案の場合、提案者毎に作成してください。 代表者後職・氏名

e-Radの研究機関コード(10桁)

2023年度「SBIR推進プログラム」(最終型) フェーズ1 提案書

記

- 研究開発課題番号
・〈番号〉は、公募要領の3. 応募の要件(2)対象となる研究開発課題に掲げる研究開発課題一覧表の中から、提案する番号を選択し、記載してください。
- 助成事業の名称
・事業内容が分かる短く簡潔な名称とし、40字以内で記入してください。
・対外的に公表して問題ない内容としてください。
・□ はつけないでください。
- 助成事業の概要
・提案する事業内容を、200字～250字以内厳守で要領よく記入してください。
・対外的に公表して問題ない内容としてください。
- 助成事業の総費用 _____,000円 (_____,000円)
・共同提案の場合は、共同提案合計費用と提案者の費用に分けて記載してください(括弧内に、提案者の費用を記載してください)。単独の提案の場合は、同じ費用を記載してください。
・千円単位で繰上切り捨ての金額を記載してください。
・本様式を含み、提案書に記入の費用は全て消費税抜きにて記入してください。
- 助成金交付申請額 _____,000円 (_____,000円)
・共同提案の場合は、共同提案合計費用と提案者の費用に分けて記載してください(括弧内に、提案者の申請額を記載してください)。単独の提案の場合は同じ費用を記載してください。
・千円単位で繰上切り捨ての金額を記載してください。
・フェーズ1における助成金交付申請額は、1テーマあたり15百万円以内です。
- NEDO 助成率 定額助成
- 助成事業の開始及び終了予定年月日
開始年月日 _____ 交付決定通知書に記載する事業開始の日から
終了予定年月日 202*年 月 日
・事業期間は、2024年3月31日までの期間において任意に設定可能です。

提案書作成にあたって

- 注1. 提案書は、添付書類を含め、全て日本語で記載してください。
- 注2. 提案書の項目を勝手に削除しないでください（ただし、本ページ及び次ページ以降、青字で記入されている提案書の注意事項及び記載例は、削除してください）。
- 注3. 特に注意がない場合は、項目間の行間は、適宜変更してください。
- 注4. 記入に際しては、簡潔明瞭を旨とし、提案書のボリュームが大きくなるような配慮してください。
- 注5. 提案書の作成にあたり記入上の注意（青字）をよく読んでください。また、各項目の記載上のポイントにはアンダーラインを付けてありますので、これに沿って提案書を作成してください。
- 注6. 提案書へは必ずページ番号を通して記入してください。
- 注7. 提案書の作成にあたり、公募要領を必ず確認してください。提案書の記載内容について注意事項があります。
- 注8. 共同提案の場合は、提案者ごとに本提案書を作成してください。

その他、記入上の不明点については、問い合わせ窓口宛にメールでお問い合わせください。

10. 助成事業実施計画書について

2023年度SBI R推進プログラム（連結型 フェーズ1）

助成事業実施計画書

＜注意事項＞

- ・本資料に記載している項目に必要な情報を入力し、「助成事業実施計画書」を作成してください。
- ・フォーマットはあくまで例示であり、資料の体裁・分量を変えることは自由ですが、各ページの記載ガイド（青字）について十分な言及がない可能性があります。なお、事実・データ等の記載は、その出典を明記してください。
- ・審査委員に公開したくない情報は、本提案書には記載しないでください。ただし、審査委員の判断材料が不足する場合は審査結果に影響する場合がありますのでご注意ください。
- ・必要に応じて、参考資料（自由様式）を挿入してください。
- ・応募にあたっては、公募要領及び交付規程をご覧ください。審査の結果、採択され、事業を実施するには、これらの内容に同意いただく必要があります。
- ・プレゼンテーション資料に「アニメーション」、「動画」を使用することはできません。
- ・提出書類一式の容量は最大100MB以内とさせていただきます。

研究開発課題番号：○

提案テーマ名：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

提案者名：株式会社●●●●●●



【事業の実施計画】

1. 事業の概要 | 事業の全体像、研究開発課題との関係性（課題解決にどのように貢献できるか）

- I. 事業の全体像
- ・開発等が必要な背景、開発内容や目標、目標達成により解決される課題等の全体像を簡潔に記載してください。
 - ・必要に応じて、図表（写真、透視図、ビジネスプラン等）も用いて表現してください。
- II. 研究開発課題（トピック）との関連性
- ・今回提案する事業が、トピックに記載された政策課題等の解決に対し将来的にどのように貢献するか記載してください。
 - ・フェーズ1での提案内容には課題解決のためどのような概念実証(POC)・実現可能性調査(FS)の証明が必要なのかについても簡潔に記載してください。

＜注意事項＞

- ・本資料に記載している項目に必要な情報を入力し、「助成事業実施計画書」を作成してください。
- ・フォーマットはあくまで例示であり、資料の体裁・分量を変えることは自由ですが、各ページの記載ガイド（青字）について十分な言及がない場合は、審査において十分に評価されない可能性があります。なお、事実・データ等の記載は、その出典を明記してください。
- ・審査委員に公開したくない情報は、本提案書には記載しないでください。ただし、審査委員の判断材料が不足する場合は審査結果に影響する場合がありますのでご注意ください。
- ・必要に応じて、参考資料（自由様式）を挿入してください。
- ・応募にあたっては、公募要領及び交付規程をご覧ください。審査の結果、採択され、事業を実施するには、これらの内容に同意いただくことが必要です。

その他、記入上の不明点については、「助成事業実施計画書（作成要領）」をご確認下さい。作成要領で確認できなかった内容については、問い合わせ窓口宛にメールでお問い合わせください。

1 1. その他の研究費の応募・受入状況について

(添付資料①)

その他の研究費の応募・受入状況 (提出様式)

研究者名: ●●●●※法人毎に提出

「○○大学○○○○(研究者名)」は、以下に示す研究費や所属機関・役職に関する情報に加えて、寄附金等や資金以外の施設・設備等の支援を含む、自身が関与する全ての研究活動に係る透明性確保のために必要な情報について、関係規程等に基づき適切に所属機関に報告していること、誓約いたします。

●研究費

相手機関名 (国名)	制度名/研究課題名	受給/契約 状況	研究 期間	予算額(受入研究費額)	エフォート (%)
○○財団 (日本)	××事業/△△の開 発	申請	2021.4 — 2025.3	000,000 千円	10
××株式会社 (アメリカ合衆国)	■ ■ の要素技術開 発	契約中	2018.4 — 2023.3	000,000 千円	20
—	—	—	—	—	15

●所属機関・役職(兼業や、外国の人材登用プログラムへの参加、雇用契約のない名誉教授等を含む。)

所属機関名	役職
○×研究所	主任研究員
○○大学	名誉教授
××株式会社	顧問

その他の研究費

研究代表者・研究分担者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の公的資金を除くその他の研究費の状況を記入してください。ただし、既に締結済の秘密保持契約等の内容に基づき提出が困難な場合など、やむを得ない事情により提出が難しい場合は、エフォートのみ提出でも可能です。この場合においても必要に応じて所属機関に照会を行うことがあります。

その他の研究費の範囲

競争的研究費の適正な執行に関する指針において「所属する機関内において配分されるような基盤的経費又は内部資金、商法で定める商行為及び直接又は間接金融による資金調達を除く」とされています。

民間企業については、会社法第5条において、会社がその事業としてする行為及びその事業のためにする行為は商行為であるとする、と規定されています。従って、民間企業同士の共同研究や受託開発などは商行為に該当し、指針における「その他研究費」には含まれません。

また、民間企業が社債・株式を発行して、証券市場を通じて調達した資金や、銀行などの金融機関からの借入れで調達した資金も、「その他研究費」には含まれません。

その他、記入上の不明点については、「2-3.その他の研究費の応募・受入状況」をご確認下さい。作成要領で確認できなかった内容については、問い合わせ窓口宛にメールでお問い合わせください。

12. 利害関係について

【添付資料①】
 利害関係の確認について
 提案する開発テーマに関して、審査委員と利害関係があり、公正な審査が保証されないと提案者が判断する場合は、下表に必要事項を記載してください。（審査委員の対象は本公募ページの「一次審査要領書（外部専門家）候補者一覧」を参考にしてください）

研究開発課題番号	公募要領の3.応募の要件(2)対象となる研究開発課題に掲げる研究開発課題一覧表の中から、提案する番号を選択し、記載ください。
提案テーマ	提案テーマ名は、事業内容が分かる短く簡潔な名称とし、40字以内としてください。
提案者名	〇〇〇〇株式会社（法人番号： ） ・代表となる機関名（=提案者）を一番上に記載し、提案者名の前に◎印を付してください。 ・共同提案の場合、共同提案者をすべて併記してください。 ・すべての提案者名の横に法人番号を括弧書きで記載ください。
利害関係者	有 無 必ずいずれかに◎印をして提出してください。
利害関係のある審査委員	◆機 関 名： 〇〇〇〇大学 ◆委 員 名： 〇〇〇〇 ◆該当する規程： 二 ◆その他特記事項： 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 ・該当する規程については、欄外に記載している利害関係者の定義の【規程抜粋】の中の「一～五」の該当する番号を記載してください。 ・理由が不適切な場合には、利害関係のある審査委員とはみなしませんので、ご注意ください。 ・利害関係のある審査委員が2名以上いる場合には、欄を追加してください。 ・過去の当該事業の審査委員以外で想定される利害関係者がいる場合も上記に記載してください。「〇〇株式会社関係者」、「〇〇大学〇〇学部関係者」のような記載でも構いません。
技術的なポイント	・採択審査委員に提示し、自らが利害関係者、とりわけ競合関係に当たるとどうかの判断を促すため、競合関係を特定することが可能と考える技術的なポイントを問題ない範囲で記載いただけますようお願いいたします。

利害関係者の定義について
 1 規程
 NEDOでは、NEDO技術委員・技術委員会等規程（平成15年度規程第63号）（以下、規程という。）第25条及び第32条それぞれの第2項において、利害関係者を次のとおり規定しています。
 【規程抜粋】
 2 利害関係者の範囲は、次の各号に定める通りとする。
 一 審査を受ける者と親族関係にある者
 二 審査を受ける者と大学・研究機関において同一の学科・研究室等又は同一の企業に所属している者
 三 審査を受ける者が提案する課題の中で研究分担者若しくは共同研究者となっている者又はその者に所属している者
 四 審査を受ける者が提案する課題と直接的な競争関係にある者又はその者に所属している者
 五 その他機構が利害関係者と判断した者

利害関係者の定義について

1 規程
 NEDOでは、NEDO技術委員・技術委員会等規程（平成15年度規程第63号）（以下、規程という。）第25条及び第32条それぞれの第2項において、利害関係者を次のとおり規定しています。

【規程抜粋】

- 2 利害関係者の範囲は、次の各号に定める通りとする。
- 一 審査を受ける者と親族関係にある者
 - 二 審査を受ける者と大学・研究機関において同一の学科・研究室等又は同一の企業に所属している者
 - 三 審査を受ける者が提案する課題の中で研究分担者若しくは共同研究者となっている者又はその者に所属している者
 - 四 審査を受ける者が提案する課題と直接的な競争関係にある者又はその者に所属している者
 - 五 その他機構が利害関係者と判断した者

上記の定義に当てはまる利害関係者をご記入ください。

その他、審査委員にも利害関係者に該当するかを確認いただくため、競合関係を特定することが可能と考える技術的なポイントを問題ない範囲でご記入ください。

1 3. 提案書類チェックリスト(提案者用チェックリスト)について

提出書類チェックリスト (2023年度S B I R連結型フェーズ1)							
提出者名	〇〇株式会社		提案者記入欄	NEDO記入欄1	NEDO記入欄2	修正内容	再提出期日
研究開発課題番号			確認日:	確認日:	確認日:		
提案テーマ			確認者:	確認者:	確認者:		
提出物	チェック項目	チェック内容	チェック欄	チェック欄	チェック欄		
1-1. フェーズ1 提案書 (様式第1)	書類の有様、書式の確認	- 提案書はすべての項目が記載されているか。 - ページ番号が記載されているか。 - 書き・印刷の修正が入っている。提案書の注意事項及び記載事項は全て確認されているか。					
	*様式	- 2023年度S B I R 推進プログラム フェーズ1 となっているか (2023年度の様式を使用しているか)。 - 優先順位付研究開発法人 となっているか。					
	*日付	提案書1ページ目上の提出日は6/30~7/31 となっているか。					
	*共同提案の有様	共同提案の場合、チェック欄より共同提案者を選択してください。					
	*提案者	代表者の情報は全部事項が明瞭に特許に関する事項に記載の住所と一致しているか。					
	*枚数	共同提案の場合、各提案者分の提案者があまるか。					
	1. 研究開発課題番号	研究開発課題番号は記載されているか。					
	5. 助成金交付申請額	- 合計額がフェーズ1 = 1,500万円以下となっているか。 - 8. 助成事業期間における会計方針の注、助成金交付申請額に記載されている金額と合っているか。					
	7. 助成事業の開始及び終了予定年月日	<事務局> 終了予定年月日は、2024年3月31日までとなっているか。					
	8. 助成事業期間における会計方針 (1) 収益計画	- フェーズ1の場合、各年度の全経費 (助成事業に要する経費)、収入の注、助成金交付申請額及び会計方針は一致させること (原則的に、自己資金、上、借入金、目、その他の収入 (小計) は、記載したとおりで結構です)。					
	8. 助成事業期間における会計方針 (2) 借入金等の調達方法	<不要な?> 収入項目1~目的調達方法について記入しているか。					
	9. 提案者 (法人) の概要	すべての提案者が中小企業法上の中小企業等に該当しますか。 (大企業 (おおきく大企業含む)、学術機関等、一般財団法人、一般社団法人は提案対象ではありません。) 中小企業の定義は、必ず資料確認の条件を参照してください。 - 本邦法人ですか。 - 設立年が記載されているか。 - 法人番号が13桁になっているか。以下の国別銀行のURLから国内で登録されていることが確認できますか。 https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/					
	11. 助成事業に参画する人員	表中の登録研究員の名前と存在研究員名を一致させているか。					
	13. 事業開始年度の資金を要する別の表現の有様	「有/無/不明」のいずれかの記載があるか。「有」の場合、「従事員への資金型」及び「別の表現」が記載されているか。					
14. 事業プランのキーワード	- 技術キーワードが事業内容 (期待される) から照らし、そのキーワードおよび関連する【技術】キーワードの両方を2つ以上記載されているか。 - フェーズ1の記載はかつ必ず記入してください。						
書類の有様、書式の確認	- 業務計画書はすべての項目について記載されているか。 - 研究開発課題番号が記載されているか。また、ページ番号も記載されているか。 - 書き・印刷の修正が入っている。提案書の注意事項及び記載事項は全て確認されているか。						

提案書類チェックリスト 記入にあたって

1. 提案者名には法人名称をご記入してください。
2. 研究開発課題番号にはア~ケの番号をご記入してください。
3. 提案テーマには事業の名称をご記入してください。
4. 提出物のチェック項目、チェック内容を確認し提案者記入欄の全てのチェック欄に「✓」または「✓ (該当無し)」を入力してください。
5. 全てのチェック欄の入力を確認し、確認日と確認者をご記入してください。

※チェックリストはExcelシートに記入し、Excelファイルのままご提出してください。

その他、記入上の不明点については、問い合わせ窓口宛にメールでお問い合わせください。

	内 容	日 程
	公募開始	6月30日(金)
本日	公募説明会	7月14日(金)
	問い合わせ※期限	7月21日(金)まで
	公募締切	7月31日(月)正午
	事前審査（書面審査）	8月下旬～9月上旬(予定)
	事前審査（プレゼンテーション審査）	9月下旬(予定、対象者のみ)
	契約・助成審査委員会	9月下旬(予定)
	助成先の決定	9月下旬(予定)
	採択・不採択通知の発出	10月上旬(予定、対象者のみ)

※ 提案いただくテーマが研究開発課題に合致しているかどうかについて、事務局ではお答えすることはできません。別紙「SBIR推進プログラム公募 連結型 研究開発課題詳細」に記載されている政策課題、研究開発内容等より、提案者様ご自身でご判断ください。